

**株式会社 JALCOM® 営業部**

- 関西営業所：〒560-0035 大阪府豊中市箕輪3-5-22  
TEL.06-6857-1800 FAX.06-6857-1840
- 関東営業所：〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-11-5  
YAJIMAビル3F  
TEL.045-410-1331 FAX.045-410-1431
- 東海営業所：〒465-0097 名古屋市名東区平和が丘2-125  
TEL.052-760-8656 FAX.052-760-8666

**圧力センサ材質変更のご案内**

拝啓 新涼の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、首題の件ですが、この度、長年に亘りご講評をいただいております弊社圧力センサの一部機種においてステンレス鋼の入手性が著しく悪化していることから、材質を変更させていただくことになりました。

このままでは、近い将来お客様へご迷惑をお掛けする事態になる可能性が高いと判断し、やむなく鋼種を変更させていただくこととなりましたので、内容に関しまして下記の通りご案内申し上げます。

鋼種変更後も従来品と同様にご使用出来ますので、ご理解賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。  
敬具

—記—

1、対象製品：圧力センサ(アンプ内蔵センサ型圧力センサを含む)  
VPRT、VPRTF、VPRQ、VPRQF、VPRF、VPRH型の全レンジ

2、材質変更の内容：

1)変更前後材料。

①変更前材料 SUS630(米国規格17-4PH)

通常市販品は大気溶解品ですが弊社圧力センサは、特殊に真空溶解品を指定製作しています。

②変更後材料 15-5PH (JIS規格では該当品が無いことから、この表記になります)

2)従来材質との比較

①強度 15-5PHの引張強度は、17-4PH(SUS630)と同じです。

②環境負荷物質 従来通りRoHS指令に適合した鋼種となります。

③耐食性 15-5PHは、17-4PHと同じく、析出硬化系ステンレス鋼に分類され、構成する成分も同一ですので、耐食性も同等です。また、実際の製品表面には従来品と同様の無電解ニッケルめっきを形成しますので耐食性はニッケルめっきの性質に依存しますが、無電解ニッケルめっきは従来の設備手法にて成膜しますので、従来品と同等の耐食性を有します。

3)管理レベル

15-5PH材は航空宇宙材料規格「Aerospace Material Specifications = AMS」に規格化されており、

15-5PHはAMS5659として管理されています。弊社手配時にはこのAMS5659を指定し調達しています。

AMSは国際的に運用されており、管理レベルはJIS同等以上といえます。

4)変更理由

①SUS630(米国規格17-4PH)は、真空溶解品の入手性が著しく悪化し、素材メーカーの改善見通しが全く立たず、さらに悪化することを言われているため。

②15-5PHは、真空溶解品が標準であり、航空機用に使用量が増大してきている影響で汎用品としての入手性が向上しているため。

※高品質の高張カステンレス鋼としては「15-5PH」が主力となってきていることも「17-4PH」の特殊溶解品の入手性が悪化している要因と推測されます。

3、変更時期：

2011年10月より順次ランニングチェンジを予定しております。

型式、圧力レンジにより多少時期が異なりますので予めご了承願います。

以上